

COVID-19をめぐる世界とその後

伊藤 宗親

本稿は切2日前の4月28日現在、やはりCOVID-19について書かねばならないでしょう。現在、岐阜県も緊急事態宣言の最中であり、私の本務である岐阜大学でも学生はもちろん来学不可、教職員も基本的には在宅勤務の状態です。家では、すでに大学退職後の予行演習の観を呈しています（一応、まだ退職まで10年以上あります）。

さて、オンライン講義の準備はあるものの時間的には余裕があるので、読書をしたり録りだめた番組などを見たりしていますが、普段あまり考えないことを考えたりもします。例えば、COVID-19の側から見ると、上手な生存戦略をとっているんだなあ、とか、社会がこんな風になってよいことはないのかなあ、とか。よいこととしてひとつ見つけたのは、不登校がゼロになったことでしょうか。全員が学校へ行っていないのですから、不登校という概念に意味はありませんね。そんな風に時間を過ごすのもひとつかもしれません。

考えてみると、普段私たちは、人とのつながりを当たり前のように感じていて、言われるまではそんなにも気にしなかったのですが、急に“社会的距離”を保てと言われても、特に対人援助職にとっては普通の姿勢と逆行するわけで、気分のいいものではありません。ただ、却って、日頃の関係のあり方を考える機会にもなっているようにも思えます。少なくとも私はそうですが、制限されればされるほど、大きな関係、つまり社会全体のことを考えるようです。ですから、関係が絶たれた、あるいは絶たれそうという場合に、どうやってそれを維持するのか、を考えねばなりません。実際に会えずとも、人と人が気持ちをひとつにする必要があるのです。

こうした状況にあって、心のセイフティー・ネットとなり得るのが、もともと遠隔手法を採用している、電

話相談やメール・SNS相談だろうと思います。相談件数は増えているのではないのでしょうか。私は普段対面でのカウンセリングを行っていますが、やはり「感染が怖いので頻度を下げて欲しい」「しばらくお休みしたい」という方がおられます。欧米では、オンラインカウンセリングも普通に行われているのですが、日本ではまだまだ普及していません。そのような方にも遠隔での相談は有効な手立てのひとつと思われれます。ですから、電話相談などのサービスは、相談件数が少ないからといって、なくしてしまっただけでは絶対にいけないのです。今回のことがそれを証明していますね。

ただでさえ問題を抱えているのに、現在の状況は人々をいっそう不安にさせます。相談を求める方はもとより、このようなときこそ、社会的に弱い立場におかれている方、この状況に立ち向かっている方たちに対してより優しい気持ちを持ちたいものです。おそらくそうした素地が、COVID-19が去ったあとの世界をよりよいものにしてくれるはずですが、今回の未曾有の危機を体験して、誰もここを消耗してしまいがちですが、少しでも他者に対して優しい気持ちでいられることが、先に述べた“気持ちをひとつに”に通じるでしょうし、回復後の世界が明るくなるのではないのでしょうか。おそらく、もうこれまでの世界には戻らないでしょう。なんらかのかたちで、社会は変化しそうです。しかし、だからといって悲観するのではなく、社会がよりよくなるための準備だと思えば、やりがいもあるというものです。今が、頑張りどころなのです。

街路樹のハナミズキがきれいな時季です。花はいいですね。もし、ご自宅に花がなければ、こういう時には部屋に花を飾りましょう。気分が晴れやかにになります。そして、みなさん、健康に留意してお過ごし下さい。

(当協会研修講師)

相談員の声

相談員は今

岐阜いのちの電話は昨年20周年を迎えました。私達相談員は関わって下さった多くの方達と共に歩いて来ました。草創期から関わり支えて下さった子安さんが今年3月で勇退されました。今まで頑張ってくれていた古田事務局長から4月に岩見事務局長に交代しました。相談員の会が出来ました。

岐阜いのちの電話がどうやって行くのか課題の多い時期に新型コロナが発生しました。4月11日より岐阜いのちの電話はコロナの為に電話相談を休止しました。感染拡大防止の要請に答える為です。こういう時

だからこそ、話を聞いてほしい方たちが多くいるこの時期だから電話を受け続けたいのという思いが有りながら苦渋の決断でした。これが発行される6月にはコロナはどうなっているのでしょうか。少しでも早く相談電話を再開したい。でもコロナ以前の環境で再開するのは無理でしょう。今後は感染予防を重視した体制になって行くのでしょうか。

現在の相談員は休会者を含めても57名です。中々相談員が増えて行きません。相談員は仕事を抱えながらやっている人も多くいます。遠方から来て当番に入っている人も多くいます。各々の事情もあります。それでも皆が少しでも困っている方々のお役に立ちた